

行財政改革推進計画

将来の財政を踏まえ市民ニーズに応える行政運営
ができるか、まちづくり推進会議の進め方は？



高島新政クラブ
代表質問 青谷 章 議員

答

政策に繋がる意見は積極的に取り入れる

問 各支所のまちづくり
担当職員の今後の取り
組みは。

答 市長

地域訪問を行う中で出来
る限り市民の皆様の声に耳
を傾け、政策立案につなげ
ることが市民参加型の行政
運営の基本姿勢です。地域
課題の洗い出しや新たな施
策の企画につなげる取り組
みを今まで以上に強く進め
ています。

問 「高島市まちづくり
推進会議」の今後の進
め方は。

答 市長

地域の課題解決や振興策
を市民の立場で検討・実践
するために推進会議を設置
し、「これからの高島市が
こうなったらいいのにな」
をキーワードに議論を重ね
ていただいています。今後
は推進会議の中間結果を踏
まえ、政策に積極的に取り
入れる市民協働のまちづく
りに取り組めます。

問 支所機能の充実はど
うなるのか。

答 市長

耐震化や改修など支所整
備の実施設計に着手し、保
健センター機能を支所に集
約することや、災害時に災
害対策地区本部を設置する
ためのスペースの確保など
に配慮した整備を進めま
す。

問 指定管理施設の管理
形態の方向性は。

答 市長

「公共施設等総合管理計
画」に基づき施設保有量の
縮減に取り組んでおり、指
定管理施設についても耐用
年数や利用者数、収支面等
から評価し、廃止や譲渡を
含めた中長期的な方向性を
検討します。

問 公共施設における市
民使用料無料化の見直
しに伴う減免基準はど
うなるのか。

答 市長

平成28年度から適用する
公共施設使用料の減免につ
いては、現在、施設の種別
や各団体の活動内容を考
慮した基準を検討中です。

小中学校の無料開放も含め
て整理し、最終的な減免基
準を示します。

未来に向けたまちづくり

福井市政の評価と
今後の方向性は？

答

政策実現を図ってきた、
今後とも精一杯取り組む

問 5つの未来政策など
の公約の評価と、今後
の取り組みと方向性を
問う。

答 市長

様々な公約の実現に取り
組んできたところであり、
私自身、詳細な分析をした
上での自己評価はしていま
せんが、中学生までの医療
費の見直しや国道161号
バイパスの整備促進など各
種の政策実現を図ってきた
ところであり、私を支持し
ただいた市民の皆様から

は、一定の評価をいただけ
るのではないかと考えま
す。
任期の後半に入ってから
は、ふるさと納税制度や特
産品の海外戦略等に着手し
ています。今後とも高島の
未来を切り開くため、精一
杯取り組みます。

問 今津総合運動公園の
「芝サッカー場」建設
予定地の跡地利用のあ
り方について、地元と
の話し合いができない
のか。

答 市長

昨年1月整備計画説明時
には、この土地に着手しな
いで欲しいとの地元の総意
でした。市は決して地元と
の話し合いを拒んでおりま
せん。地元区としてのお考
えを整理していただき、ご
要望がありましたら、いつ
でも話し合いをさせていた
だきたいと考えています。

その他の質問

●人口ビジョンとまち・ひ
と・しごと創生総合戦略